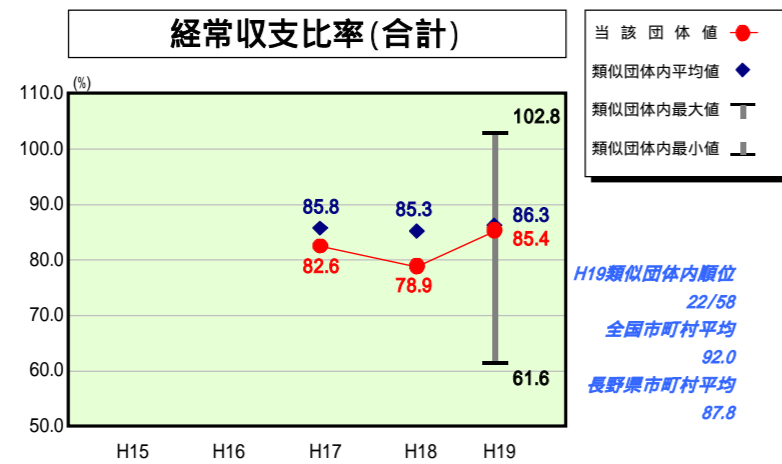
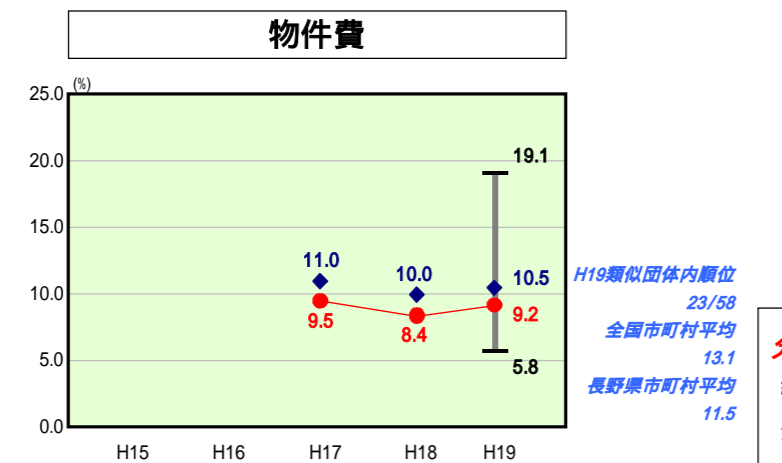
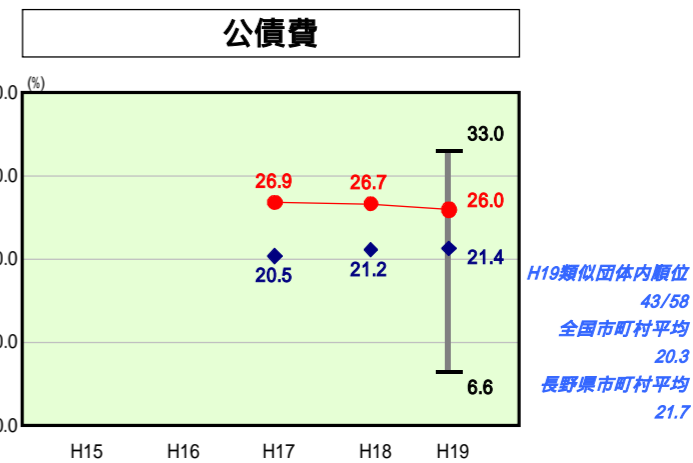
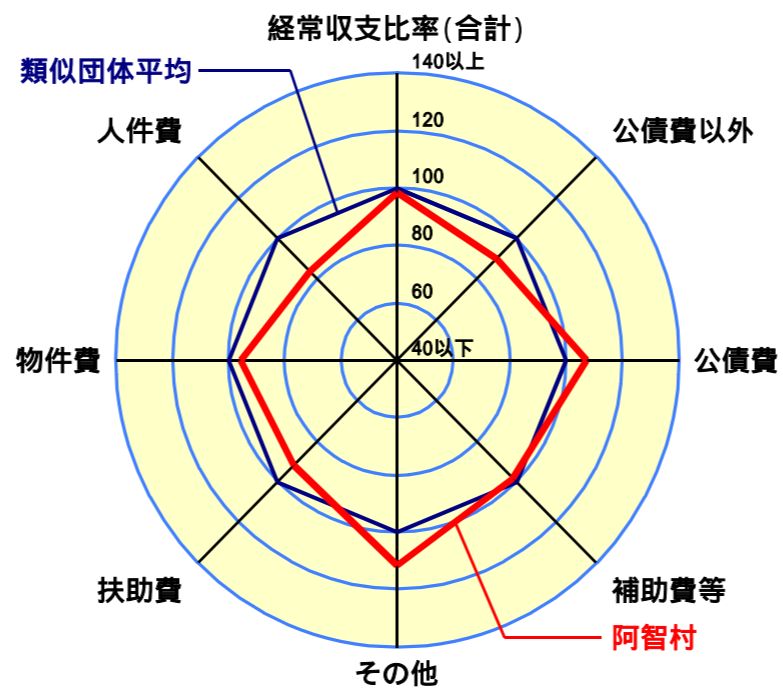
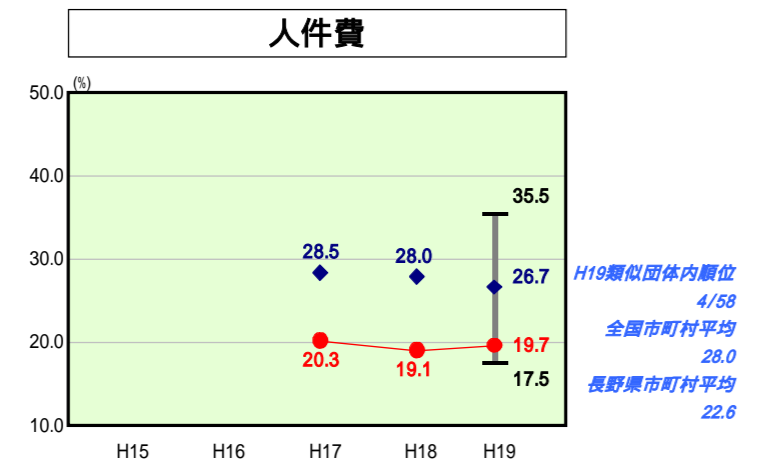
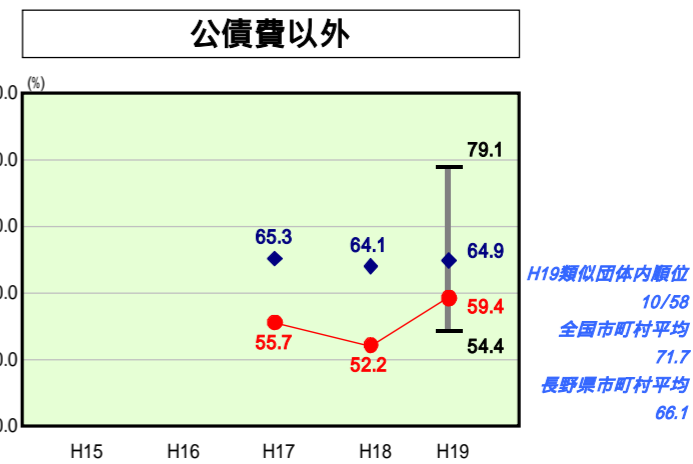


歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

経常収支比率の分析



| | |
|------|------------------------|
| 人口 | 6,472人(H20.3.31現在) |
| 面積 | 170.31 km ² |
| 歳入総額 | 5,780,807千円 |
| 歳出総額 | 5,581,042千円 |
| 実質収支 | 126,890千円 |



- 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

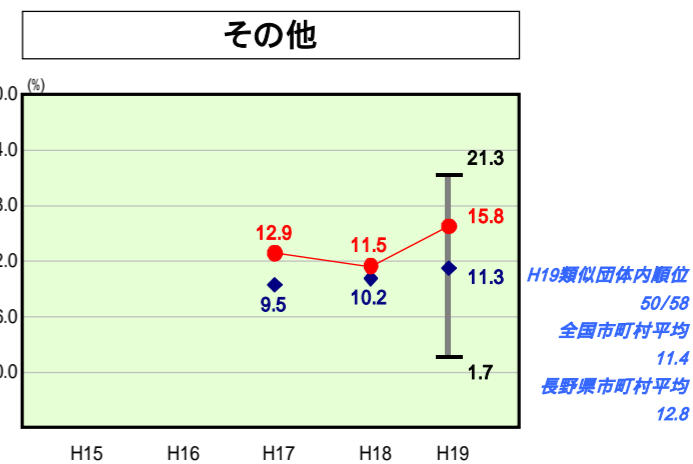
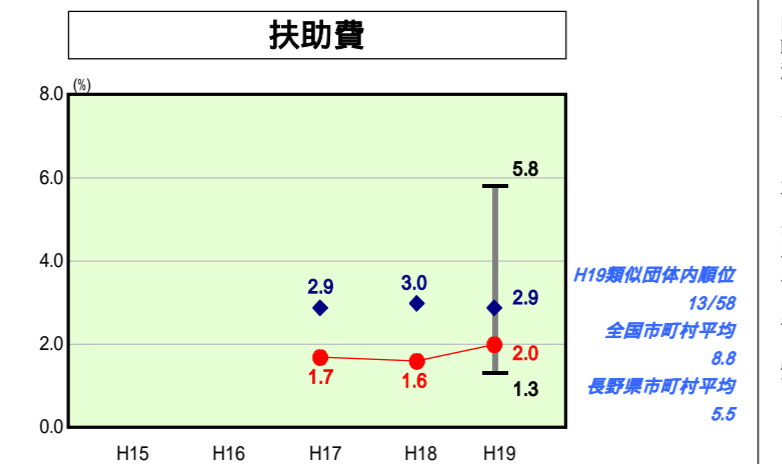
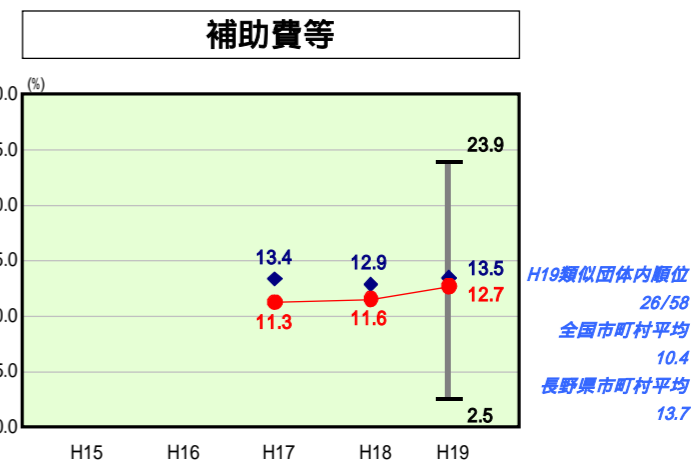
経常収支比率
 ・類似団体とはほぼ同じではあるが、特別会計への繰出金の増により85.4%は過去最高である。今後、繰出金の適正化による抑制を図るとともに、地方債の積極的な繰上償還による元利償還金の抑制に努める。

人件費
 ・保育所を村内6園行っているなどの施設運営によること、また合併により職員数が増加したことが平均値を上回っている要因と考えられる。定員適正化計画に基づき、退職時不補充により正規職員の削減に努めており、職員数は減少していく見込みである。また保育所の統合なども検討を進め、適正な定員管理を行い人件費削減に努める。

公債費
 ・下水道事業、村道改良、統合中学校建設事業などの事業に多額の起債借入を行ってきたため、類似団体に比べ起債残高が多くなっているが、合併特別債、辺地及び過疎対策事業債などの交付税算入率の高い起債が大半であるため実質公債費比率は健全な数字である。

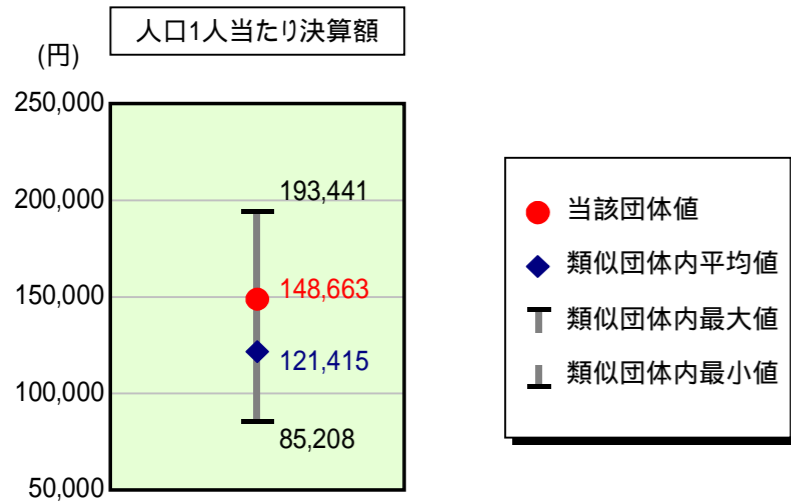
今後大規模事業により起債残高増加の兆しが見られるが、繰上償還を積極的に行い、またこれまで10年を償還の基本としていた本村の銀行等引受債について、世代間の負担の公平化と公債費負担の中長期的な平準化の観点から今後発行のものは20年償還も取り入れ、償還額の平準化及び実質公債費比率の急激な上昇を抑える。

普通建設事業費
 ・17年度より類似団体を上回っている。今後も、合併関連の事業費が数年間増加することが予測されるが、実質公債費比率等も考慮し、適正な建設計画で進めていくことが求められる。



歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

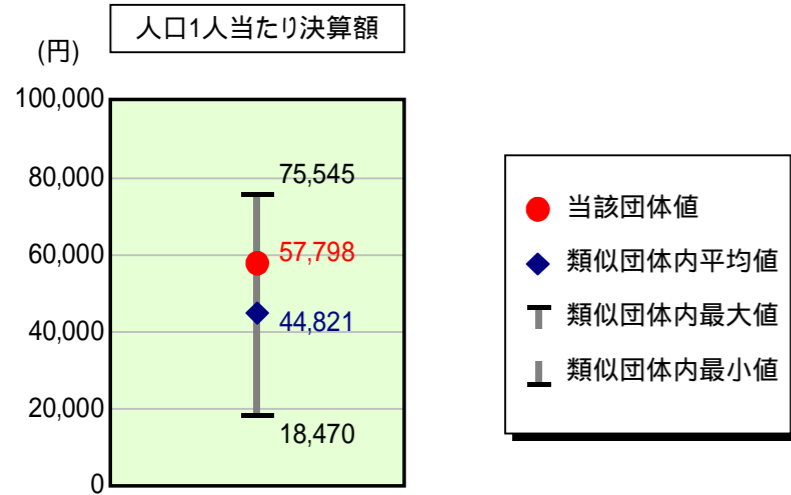
| | 当該団体決算額 (千円) | 人口1人当たり決算額 | | 対比(%) |
|-------------------------------|-----------------|------------|-----------|-------|
| | | 当該団体(円) | 類似団体平均(円) | |
| 人件費 | 767,138 | 118,532 | 103,963 | 14.0 |
| 賃金(物件費) | 61,307 | 9,473 | 6,819 | 38.9 |
| 一部事務組合負担金(補助費等) | 122,675 | 18,955 | 14,901 | 27.2 |
| 公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等) | - | - | 547 | - |
| 公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金) | - | - | - | - |
| 公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金) | 51,211 | 7,913 | 3,859 | 105.1 |
| 事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費) | 27,574 | 4,261 | 1,636 | 160.5 |
| 退職金 | 67,761 | 10,470 | 10,311 | 1.5 |
| 合計 | 962,144 | 148,663 | 121,415 | 22.4 |

参考

| | 当該団体 | 類似団体平均 | 対比(差引) |
|-------------------|-------|--------|--------|
| 人口1,000人当たり職員数(人) | 12.67 | 11.88 | 0.79 |
| ラスパイレス指数 | 93.6 | 92.8 | 0.8 |

ラスパイレス指数及び職員数に係る項目については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである(以降の項目について同じ。)。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目を「-」としている。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

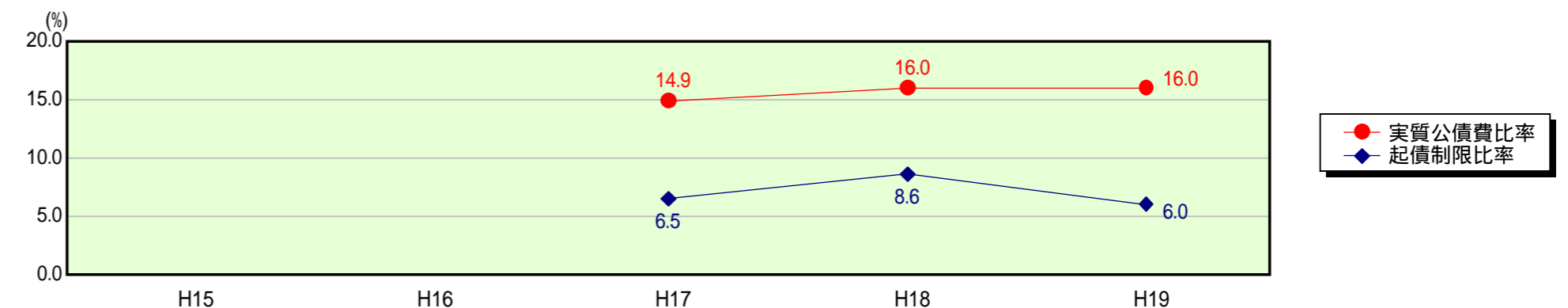


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

| | 当該団体決算額 (千円) | 人口1人当たり決算額 | | 対比(%) |
|--|-----------------|------------|-----------|-------|
| | | 当該団体(円) | 類似団体平均(円) | |
| 公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。) | 858,304 | 132,618 | 75,341 | 76.0 |
| 満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)等 | - | - | - | - |
| 公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金 | 329,006 | 50,835 | 22,862 | 122.4 |
| 一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額 | 106,322 | 16,428 | 6,985 | 135.2 |
| 債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額 | - | - | 3,564 | - |
| 一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利息は除く) | 229 | 35 | 12 | 191.7 |
| 地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額 | 919,793 | 142,119 | 63,943 | 122.3 |
| 合計 | 374,068 | 57,798 | 44,821 | 29.0 |

平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、「-」としている(以降の項目について同じ。)

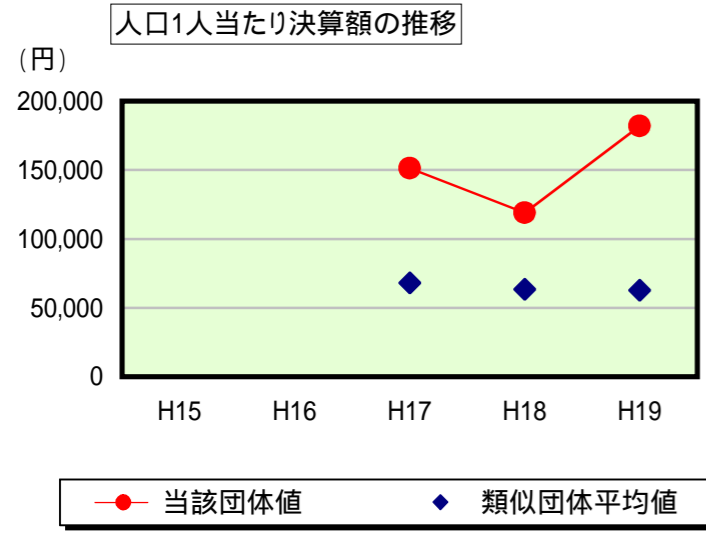
参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

長野県 阿智村

普通建設事業費の分析



普通建設事業費

| | 当該団体決算額 (千円) | 人口1人当たり決算額 | | | | |
|---------|-----------------|------------|------------|-----------|------------|-----------|
| | | 当該団体(円) | 増減率(%) (A) | 類似団体平均(円) | 増減率(%) (B) | (A) - (B) |
| H15 | - | - | - | - | - | - |
| うち単独分 | - | - | - | - | - | - |
| H16 | - | - | - | - | - | - |
| うち単独分 | - | - | - | - | - | - |
| H17 | 1,002,557 | 151,215 | - | 68,130 | - | - |
| うち単独分 | 953,327 | 143,790 | - | 43,462 | - | - |
| H18 | 772,711 | 118,842 | 21.4 | 63,426 | 6.9 | 14.5 |
| うち単独分 | 544,765 | 83,784 | 41.7 | 41,771 | 3.9 | 37.8 |
| H19 | 1,176,694 | 181,813 | 53.0 | 62,772 | 1.0 | 54.0 |
| うち単独分 | 985,214 | 152,227 | 81.7 | 42,833 | 2.5 | 79.2 |
| 過去5年間平均 | 983,987 | 150,623 | 15.8 | 64,776 | 4.0 | 19.8 |
| うち単独分 | 827,769 | 126,600 | 20.0 | 42,689 | 0.7 | 20.7 |